### 九州大学学術情報リポジトリ Kyushu University Institutional Repository

# [011]九州大学産学連携センター年報: 11

https://doi.org/10.15017/15511

出版情報:九州大学産学連携センター年報. 11, 2005-09-30. 九州大学産学連携センター

バージョン: 権利関係:

# 1. KASTECの概要

### 1.1 KASTECの目標

九州大学産学連携センター(KASTEC)は、その前身である先端科学技術共同研究センターが平成6年度に設置されて以来、21世紀の我が国の社会とりわけ産業・経済を支えるテクノロジー・イノベーションを九州大学より世界に向かって発信すべく、また地域に新たな産業基盤を創成すべく、九州大学と社会とを結ぶ絆として種々の活動を行いつつ今日に至ります。

KASTECではこれまで、

- ・産学連携に関する実務ならびに研究を推進する専任教員から成る"リエゾン部門"
- ・4つの先端学術領域で産学官連携大型プロジェクト研究を推進する"プロジェクト部門"
- ・技術の人間化というコンセプトに立ちヒューマンインタフェースのあくなき進化と その社会への還元を志向する "デザイン総合部門"
- の三部門の有機的連携のもと、九州大学の社会貢献活動が活発に展開されています。 また全学的には、九州大学産学連携推進機構(BLO)の重要な担い手として、学外からの技術経営相談や技術移転機関(TLO)への対応を行うなど、九州大学のリエゾンシステムの窓口として機能しています。さらにリエゾン部門及びデザイン総合部門は、BLOに設置された九州大学知的財産本部の一員としても活動の場を広げています。

このように時代の要請に応じ歩を進めてきたKASTECではありますが、その根幹には不易のものとして「新産業の創成と豊かな地域社会の実現」を基本方針とし、"3つの目標、9つの方策"を掲げ、研究と社会貢献活動に邁進しています。

#### A 産学官技術移転システムの構築とそれに関する新しい学問領域の創造

- a1 研究シーズと産業ニーズに関する調査・分析及び技術移転コーディネート
- a 2 研究成果・研究支援などの情報の整備と発信
- a3 実効的かつ総合的な技術移転システムの構築に関する研究

#### B 産学官交流による地域社会等への貢献

- b1 民間企業等との共同研究・受託研究等の推進
- b2 産学官交流の場の提供と研究シーズの発信
- b3 産業ニーズの発掘と産学官研究プロジェクトのコーディネートの推進

#### C 先端的プロジェクト研究による高度な産業技術シーズの創出

- c1 産学官の研究者等からなる研究チームの結成
- c2 先端研究領域における国内外博士研究員の招聘
- c3 横断型プロジェクトの企画と推進

リエゾン部門は上記の「A 産学官技術移転システムの構築とそれに関する新しい学問領域の創造」、デザイン総合部門はデザイン領域における「A 産学官技術移転システムの構築とそれに関する新しい学問領域の創造」及び「C 先端的プロジェクト研究による高度な産業技術シーズの創出」、そしてプロジェクト部門は「C 先端的プロジェクト研究による高度な産業技術シーズの創出」を目標とし、三部門で協同して「B 産学官交流による地域社会等への貢献」という目標を掲げ、事業に取り組んでいます。

この年報は、平成16年度のKASTECの活動をまとめたもので、上記A $\sim$ Cの目標を基に行った事業報告等を2章 $\sim$ 5章に、これらを受けての総括及びKASTECの今後の活動の方針を6章に示しました。

### 1.2 運営方法と組織

KASTECの運営は、「九州大学産学連携センター規則」(附録1)に則って行われていま す。すなわち、全学から選出されたセンター委員(平成16年度の委員名を附録2に示し ます)によるセンター委員会が最高の意志決定機関となり、センターの管理運営や自 己点検評価、教員人事、共同研究等業務の詳細等について審議を行います。 的にみてKASTECは、ベンチャービジネスラボラトリー及び関係各部局の連携により構 成される九州大学産学連携推進機構(Business Liaison Office : BLO)の中核的セン ターとして位置付けられており、リエゾン部門及びデザイン総合部門は、BL0内に設 置されている知的財産本部の重要な一翼を担っています。また、九州大学には全学 の産学連携活動の活性化のために、文部科学省産学官連携コーディネーターが KASTEC特任教授として配置されています。

以下に、KASTECならびにBLOの組織図を示します。また、附録3にKASTEC教職員名を 示します。

#### KASTECの組織

#### リエゾン部門

#### 〈リエゾン研究〉

- ●広域リエゾン システム構築
- ●知的財産権の 調査・研究
- ●国際産学リエゾン システム構築

#### ―産学官連携の推進―

- 〈リエゾン実務〉 ●学内技術シーズ 調査・DB化
- ●産学連携事業の 企画・実施
- ●技術・経営相談
- ●産学官共同研究の

#### プロジェクト部門

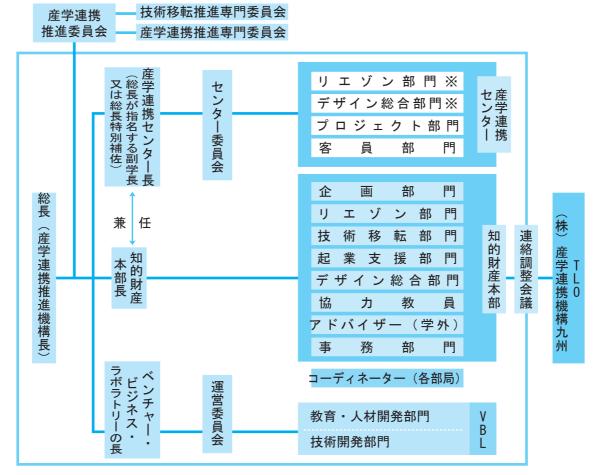
―高度な産業技術シーズの創出―

- ●産学官研究チームの形成
- ●先端研究領域における 国内外博士研究員の招聘
- ●大型プロジェクト研究の 企画・推進
- ●デザイン知財の移転研究
- ●研究プロジェクトデザイン
- ●全国産学連携機構の構築 研究
- ●DL0、CL0の研究と構築
- ●デザイン方法論の研究

#### デザイン総合部門

#### ■KASTECの組織と全学的な位置づけ

#### 九州大学産学連携推進機構



※リエゾン部門及びデザイン総合部門は 知的財産本部と連携して活動

#### ■センター委員会の役割

センター委員会では、次の各号に掲げる事項が審議されます。

- (1) 教員人事に関すること。
- (2) 教員の研究業務に係る重要事項に関すること。
- (3) 共同利用に係る業務の重要事項に関すること。
- (4) 研究員等に関すること。
- (5) 研究生等に関すること。
- (6) センター内の諸規則等の制定改廃に関すること。
- (7) 研究に係る自己点検・評価(外部評価を含む。)に関すること。
- (8) 共同利用に係る業務の自己点検・評価(外部評価を含む。)に関すること。
- (9) その他センターの管理運営に関すること。

今年度のセンター委員会の議事を附録4に示しました。

## 1.3 活動経過

KASTECに関連した平成16年度の主な行事、イベント等を時系列的に示します。

## ◆九州大学産学連携センター

	平成16年	
	4月 1日	客員教授着任
	6月 4日	第95回KASTECセミナー
	6月29日	産学連携センター委員会
	8月26日	第17回国立大学共同研究センター専任教官会議
	9月15日	産学連携センター委員会
	10月14日	第16回国立大学共同研究センター長会議
	11月19日	第96回KASTECセミナー
	29日	第97回KASTECセミナー
	30日	第6回九州地区国立大学法人地域共同研究センター長会議
		KASTEC年報第10号
	12月15日	産学連携センター委員会
平成17年		
	1月19日	第98回KASTECセミナー
	2月28日	第99回KASTECセミナー
	3月 1日	第100回KASTECセミナー
	15日	産学連携センター委員会
	17日	第101回KASTECセミナー

## ◆デザイン総合部門(大橋キャンパス)

平成16年	
7月28日	客員教授セミナー「障害者支援用システム・機器の研究開発について」
	デザイン総合部門3階 会議・セミナー室/小山 善文 客員教授
8月 9日	公開講座「高校生のための音と画像の実験」協力支援
25日	第17回国立大学共同研究センター専任教官会議(帯広畜産大学)参加
22日	イノベーションジャパン準備WG
28日	静岡文化芸術大学 来学視察
10月 2日	企業人事塾(5大学連携)開講 (幹事校:早稲田大学)

10月 7日	九州地域クラスター 成果発表会
13日	公開講座「芸術工学とバウハウス」協力支援
15日	アジアインテリアデザイン学会 日本大会協力支援
22日	第一回芸術工学共同セミナー「ものつくり共同研究セミナー」
11月 4日	経済産業省系デジタルニューディール講演会 講演/湯本 長伯
8日	IT淡路会議参加
9日	客員教授セミナー「ウィーン・フィルハーモニーの設立と経営」
16日	内閣知財本部 来学視察(事務局次長ほか)
19日	産学連携学会・学術シンポジウム 協力支援
24日	芸術情報設計学科・芸術情報プロジェクト演習 講義/湯本 長伯
12月 1日	北海道大学・産学官連携パネルディスカッション 講演/湯本 長伯
12日	インテリアコーディネーター試験 実施協力支援
17日	病院研究会-病院の現在と情報システム(建築学会)協力支援
平成17年	
1月 7日	客員教授セミナー「地場産業支援化技術に関する研究開発」
19日	デザイン総合部門 施設設備利用者セミナー
20日	全国 産学官連携コーディネーター会議(福岡)
28日	客員教授セミナー「国産広葉樹による本格焼酎の貯蔵に関する研究」
2月10日	中小企業基盤整備機構 共同研究作業開始
17日	北見工業大学 若手産学官連携人材育成研修会 協力支援
28日	全国コーディネーター・ネットワーク会議 協力支援
3月 2日	第二回芸術工学共同セミナー「ものつくり共同研究セミナー」
4日	西日本・共同研究センター教官(教員)会議(島根大学) 参加
30日	福岡 産学ジョイントプラザ友の会
31日	中小企業基盤共同整備機構 研究作業成果物決定 知財移転開始